

# 太陽誘電グループのCSR活動

## CSR活動に対する基本的な考え方

当社グループは経営理念として、「従業員の幸福」「地域社会への貢献」「株主に対する配当責任」を掲げ、企業として、社会的責任を全うすることを経営の根幹としています。

企業は、企業のみでは発展できず、社会と一緒に発展していきます。当社グループの事業展開も日本から世界へと拡がり、多くの事業拡大のチャンスが生まれ、経済価値が高まる可能性をもちました。しかし、それとともに利害関係者が広がり、その要求や期待が広く、深くなっています。

当社グループは、企業としての経済価値を高めていくと同時に、利害関係者からの要求や期待に応え、社会的責任を果たすことで、社会的価値を高めていきたいと考えています。そのためには、製品の安全や品質はもちろんのこと、労働・人権、安全衛生、環境、倫理という企業内での取り組みにおいても、責任を持って活動しています。

## CSR憲章

当社グループの経営理念を、より明確にステークホルダーの皆様へ表明するため、太陽誘電グループは「CSR憲章(太陽誘電グループ社会的責任に関する憲章)」を2005年に制定しました。社会から信頼され、愛されるために、人権を尊重し、あらゆる法令や国際ルールおよびその精神を遵守するとともに、高い道徳観、倫理観に基づき、社会的良識をもって行動します。

## 事業

- 社会的に有用な製品・サービスを安全性に十分配慮して開発・提供し、お客様の信頼を獲得します。
- 事業活動が与える環境影響を低減し、地球環境保全に取り組めます。
- 公正、透明、自由な競争を行うとともに、政治・行政、市民および団体との健全な関係を維持します。

## 人

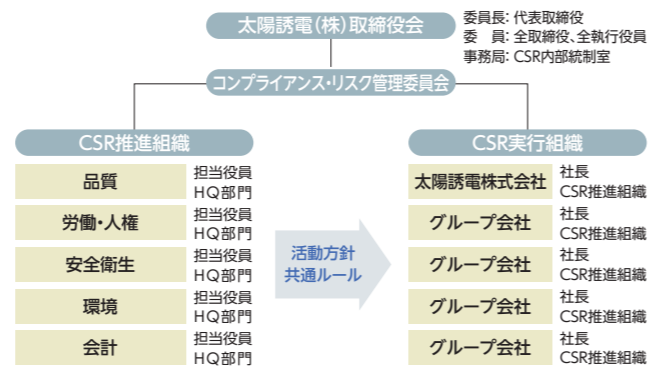
- 多様性を理解し、あらゆる人々の人格、個性を尊重します。
- 安心して働ける環境作りに努めます。

## 社会

- 各国、地域との調和を大切にするとともに、社会貢献活動に取り組めます。
- 広く社会とのコミュニケーションを行い、企業情報の適時適切な開示に努めます。

## CSR推進体制

太陽誘電グループのCSR活動は、代表取締役を委員長とし全役員が委員となるコンプライアンス・リスク管理委員会が全体を統括し、推進組織として行動規範の各条文や対象リスクごとに担当役員とHQ部門が選任され、そこから示される活動方針やグループ共通ルールに従い各グループ会社が実行する体制(コンプライアンス・リスク管理体制)によって運営されています。

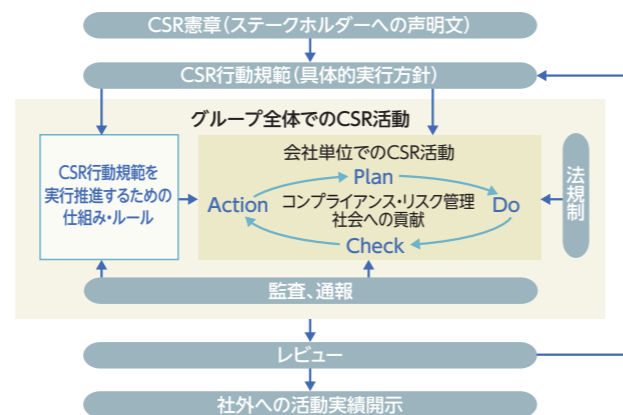


## CSRマネジメントシステム

太陽誘電グループは、CSR憲章で示した内容の実現やCSR行動規範を順守するため、CSRマネジメントシステムを構築しています。

CSR行動規範および法規制の順守はもちろんのこと、CSR行動規範を実行推進するための仕組み・ルールを整備し、各社がPDCAによるCSR活動を実施しています。

この活動全体を内部監査と通報制度でチェック、年間活動実績のレビューを行い、活動の継続的改善を図っています。



## 環境活動

### 海外における表彰

太陽誘電(サラワク)は、環境保護を事業の一環として取り組んだことが高く評価され、マレーシアのサラワク州から首席大臣環境賞を受賞しました。また、太陽誘電(フィリピン)は、法律と規範の順守と環境への貢献が認められ、フィリピンの環境天然資源省から特別貢献賞を受賞しました。



### 廃水リサイクルによる水使用量の削減

太陽誘電の中之条工場および太陽誘電ケミカルテクノロジーでは、金属を切削する際に発生する廃水を、フィルターを用いてろ過することで、水の再利用を行うようにしました。その結果、水使用量を年間535トン削減することができました。



## 社会貢献活動

### ものづくり教室の開催

太陽誘電グループでは、小学生を対象に、電子工作の体験を通じてその楽しさを実感し、理科への興味や関心を持ってもらおうという、ものづくり教室を開催しています。太陽誘電では高崎市少年科学館と協力し「落ちないロボ」の製作を、和歌山太陽誘電では「塩水で走る燃料電池カー」の製作を行いました。

### 社会福祉活動への支援

太陽誘電グループは、社会貢献活動の一環として、社会福祉活動への支援を継続しており、特に交通遺児への支援に力を入れています。グループの国内拠点は、群馬県ならびに佐藤交通遺児福祉基金への寄付を行い、韓国太陽誘電は、交通事故遺児基金を運営し奨学金の支給等を行っています。

## 安全衛生活動

### フォークリフト訓練/レーザ安全講習会

安全衛生活動の一環として、外部講師を招き、フォークリフト訓練を各拠点で開催しました。世の中の事故事例、点検方法の検証とあわせて、運転操作の訓練を行いました。また、職場に点在するレーザを使用する設備による障害を防止するため、レーザ安全講習会を開催し、危険性と対策についての教育を行いました。



### 化学物質漏えい訓練

太陽誘電モバイルテクノロジーでは、突発的な事故・災害などのリスクに対する定期的訓練として、有毒ガスの漏えいを想定した緊急事態訓練を実施しました。空気呼吸器を速やかに着用し現場に向かい、人命救助の訓練を実施しました。

詳しくは、当社のCSR活動ホームページをご覧ください。  
<http://www.yuden.co.jp/jp/company/csr/>